

分野	No.	会場	発表順	所属 (ゼミ)	出席番号 など	氏名/チーム名 (人数)	タイトル	研究概要・研究の背景
ウェルネス1 (スポーツ・健康・食)	61	②① スポーツ	1	旭丘普通科 (経済)	20210	中条綾汰	プロ野球球場の集客率を増加させるには～ベルーナドームを例とした集客率上昇の方法～	日本プロ野球2024年シーズンにおける、埼玉西武ライオンズの本拠地であるベルーナドームの集客率が、セントラルリーグ、パシフィックリーグの両リーグにおいて最低の数値であった。自分がプロ野球ファンとして改善できる点を考えたいと思った。
	62		2	旭丘DS科	DS 5班	Beyond WAR (4人)	プロ野球の新指標の提案	プロ野球における、選手個人の貢献度を表す新たな指標の開発に向けて研究しています。1プレー1プレーの価値を正確に評価できる指標を開発することを目標にしています。
	63		3	藻岩高校	他校 OR9	***** (1人)	Neuro Volley	本研究は、高校バレーボールにおける心理的サポートをテーマに、より良い部活動環境について探究している。男子バレー部マネージャーの経験から、心理的なズレや支援不足に課題を感じた。心理的サポートを取り入れることで女子マネージャーの役割を広げ、高校生が安心して競技を続けられる環境づくりを目指す。
	64	②② 美容	1	旭丘普通科 (国際)	20501	穴田美羽	日本と韓国における化粧品業界のブランド戦略	自分自身コスメが大好きで買おうとすることが多いが、種類が多く、選ぶのが難しいと感じることが多い。それを解決するためのアプリを作り、ユーザーに役立ててもらおう。日韓の化粧品業界から化粧品を選ぶ基準を作る。
	65		2	旭丘DS科	DS 2班	睡眠同好会 (5人)	暖色の光が睡眠の質に与える影響について	寝る前に見る光の時間と色による睡眠の質の変化を実験で調べています。結果から睡眠と光の関係を明らかにし、より良い睡眠習慣の実現を目指しています。
	66		3	藻岩高校	他校 OR2	***** (3人)	美容でつながる笑顔	私たちは年齢を重ねると美容への関心が薄れること、多世代交流の機会がないこと、さらに美容が女性のものという偏見があるという課題に着目しました。課題を解決させるため、介護施設で福祉ネイルを行い、また多世代が集うイベントでネイルをして交流を深め、SDGsの目標3・5・12に貢献しました。
	67	②③ 心の健康	1	旭丘普通科 (コミュニティB)	20327	金井陽瑠梨	いい子でいることは本当に有益か	「いい子」は一般的に褒め言葉として使われるが、いい子でいることは本当に良い事なのかを研究しようと思った。「いい子症候群」の人は現代社会でどう生きていくのが良いか、またどんな世の中やコミュニティがつけられるべきなのかを調べる必要があると考えた。
	68		2	旭丘普通科 (メディカルC)	20536	本間 大虎	介護の現場で起こる心のSOS～「頑張り過ぎ」が生む介護うつ～	今の日本では、およそ4人に1人が介護うつを発症していると言われており、介護を行う上で深刻な問題となっている。また、自分の身近な人も大変そうにしている姿を見て、周囲の人で何か負担を減らせるようなことができないか考えた。
	69		3	藻岩高校	他校 OR7	***** (1人)	あいまに、空を。	日々忙しく進んで行く中で、下を向きがちになっているのではないかと疑問をもとに、日常の余白×QOL×空の3つのテーマを軸に活動を進めてきました。この探究活動の中では、実際に外へ出て下を向いている人がどれくらいいるのか、姿勢とメンタルの関係性などのリサーチを行い、空を見上げるフィールドウォークイベントの開催もしました。その過程を発表していきます。
	70	②④ 食・栄養	1	旭丘普通科 (サイエンスB)	20417	堀颯姫	食と幸福感の関係性について	自身が幼少期に食べ物の好き嫌いが多く、食事を楽しむことができていなかったのを改善した結果、「食」が1つの楽しみとなり、人生が豊かになったと感じたため。また日本において「個食」「孤食」問題が浮上してきており、食事の楽しさを感じることができないなどの問題が生じているのではないかと考えた。
	71		2	旭丘普通科 (メディカルA)	20221	池田桃子	高校生に足りていない栄養素とその改善策	高校生に朝食や昼食を簡単にすませている人が多くいることに気づいたり、私自身も生活リズムが変わったことで、食生活に変化があったりしたので、高校生はバランスの良い食事をとっているのか気になった。
	72		3	旭丘DS科	DS 15班	チーム甘酒 (4人)	米の品種による甘酒の糖度とグルタミン酸濃度の違い	私たちは甘酒の糖度とグルタミン酸濃度が一番高くなる米の品種を調べています。6種類の米を用いて同じ作り方で甘酒を作り、実験で数値を測定し差が生じるか統計を行います。統計的に誤差はなかったです。